

事務事業名	真岡市母子寡婦福祉会支援事業				担当	健康福祉部 こども家庭課 子育て支援係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				増補版施策名			
施策名	2	子育て支援の充実				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画						事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						☒ 単年度繰返（開始年度 昭和29 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	2児童福祉費	3母子福祉費	☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
事業概要	母子家庭・寡婦家庭の生活の安定と福祉の向上及び会員相互の連絡、親睦を図ることを目的に、真岡市母子寡婦福祉会が次に掲げる事業の実施に対し、市が補助金を交付し支援する事業。 （1）各地区母子寡婦福祉会の連絡並びに指導 （2）母子家庭並びに寡婦家庭の福祉の向上に関する調査及び研究 （3）会員研修会、講演会の実施 （4）関係諸団体との連絡提携 （5）その他、本会の目的達成のため必要な事業								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 真岡市母子寡婦福祉会の補助申請を審査し補助金を交付する。 30年度計画 平成29年度と同様				⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
				名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
				ア	補助金額	千円	96	96	96	96	96
				イ	会員数	人	81	81	66	56	56
				ウ							
				エ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 真岡市母子寡婦福祉会				⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
				名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
				ア	会員数	人	81	81	66	56	56
				イ							
				ウ							
				エ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市が支援し、会が事業を実施することにより、会員相互の連携が図られ、会が活性化する。				⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
				名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
				ア	事業の延参加人数	人	429	429	420	367	370
				イ							
				ウ							
				エ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 会員の生活の安定、福祉の向上を図る。				⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
				名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
				ア	事業に参加した延人数	人	429	429	420	367	370
				イ	生活の安定・福祉の向上が図られた世帯の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
				ウ							
				エ							
(2) 総事業費の推移				単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	96	96	96	96	96		
			事業費計（A）	千円	96	96	96	96	96		
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
			延べ業務時間	時間	4	4	4	4	4		
			人件費計（B）	千円	17	17	17	17	17		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	113	113	113	113	113		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		・戦後未亡人の母子、寡婦がお互いに支えあって生活の安定と自立を図るため、「白梅会」の名で発足したもの。									
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？		・母子・寡婦世帯は増加しているが福祉会加入会員の数が減少している。 ・若い人の加入が少ない。 ・平成21年3月23日、二宮町との合併により二宮町母子寡婦福祉会は真岡市母子寡婦福祉会に統合された。									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		市の支援により会が事業を実施することにより、会員相互の連携が図られ会が活性化したとの声がある。									